

問

代表・一般質問を平成20年9月22日・24日・25日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各
会派を代表する11名の議員
が、区政全般について質問
を行い、区政執行にあたる
区長をはじめ執行機関の考
えを尋ねました。
以下、その一部を掲載し
ます。

足立区議会自由民主党

協働で築く産学公の連携で 力強い足立区の実現を！



自由民主党
高山 延之 議員

区長の基本姿勢について伺う

【問】区は、大きな変革期を迎えている。基本構想の「協働で築く力強い足立区の実現」を目指し、今後、どのように区政運営を進めていくのか。

【区長】基本構想・基本計画で示す将来像・目標を着実に実現するため、今何をすべきか、何に挑むべきか、優先すべきものは何か、を明らかにしていくことを基本に進めていきたい。

【問】基本計画の取り組みにおいて、成果のあった施策は何か。

また、第一次構造改革戦略で区の弱みとされた課題は、どの程度解消されたのか。

【政策経営】日暮里・舎人ライナーの開通等により、平成16年度と比べ、駅から半径1km圏内の割合は、約4割から約7割になる等、大きく改善された。

また、構造改革で弱みとされた交通網や大学等は改善されたが、足立ブランドの推進や大学と地域産業の連携等に取り組みなければならないと考えている。大学との連携をどのように進め

ていくのか

【問】東京藝術大学、東京未来大学に続き、帝京科学大学、東京電機大学の開学が予定されている。大学との連携をどのように進めていくのか。

また、大学間の連携や、大学と地域、産業との産学公の連携をどのように進めていくのか。



【区長】芸術系や理工系等、分野が様々であり、得意分野に応じて区との連携を進めていく。

また、大学間の連携等についても、政策経営部を中心とした全庁体制で着実に進めていく。区民の意識改革をどのように進めていくのか

【問】「ビューティフル・ウィンドウズ」運動に大いに賛同する。区民意識は、以前と比較して変化したと感ずるのか。また、今後どのようにしたら

一層の意識改革が図れるか。

【区長】「自分たちのまちは、自分たちできれいにする」という意識を醸成することを目指す。また、まだ端緒にすぎないが、意識改革を行っていく。

【問】下水道の主要枝線は、集中豪雨時に貯留管として機能するが、貯水能力はどのくらいか。

また、抜本的な解決には、千住関屋ポンプ所の完成が不可欠である。進捗状況はどうか。

【土木】貯水能力は、旧日光街道下は1万4千800m³、常東地域は7千m³が完成し、合わせて2万1千800m³と伺っている。

また、千住関屋ポンプ所の建設については、昨年末に地元説明会を行い、現在は施工方法や、資材搬入のあり方について、地元と協議を行っている。

【問】今後整備する公共施設は、自然エネルギーの活用等を標準仕様とし、区の姿勢を強く区民に示すべきではないか。

【区長】芸術系や理工系等、分野が様々であり、得意分野に応じて区との連携を進めていく。

また、大学間の連携等についても、政策経営部を中心とした全庁体制で着実に進めていく。区民の意識改革をどのように進めていくのか

【問】「ビューティフル・ウィンドウズ」運動に大いに賛同する。区民意識は、以前と比較して変化したと感ずるのか。また、今後どのようにしたら

また、「環境サミット in 足立」で、「地球にやさしい人」宣言をされた区民の行動様式が、一過性にならないような工夫が必要ではないか。

【資産管理】施設の立地条件等を勘案し、自然エネルギーの活用等を図っていく。そのため、「公共施設等整備基準」の改定に盛り込んでいく。

【環境】「環境サミット in 足立」の成果を、足立区温暖化防止区民会議等、あらゆる機会を通じて維持、発展させていく。

【問】無理難題な要求をする、モンスターペアレント等の件数と、要求への対応が原因で休職中の教職員の人数を伺う。

また、区教委はどのような取り組みを行っているのか。

【教育指導】一概に定義することは難しいが、年々増加傾向にあると考える。教職員の休職等も、必ずしも直接的な理由とは言いえないが、精神的な負担になっているものと捉えている。

区教委では、指導主事等が話し合いに同席したり、総務部法務課等とも連携を図るとともに、法的措置も視野に入れた対応を進めている。

【問】スポーツ環境の整備と歴史・文化等の教育の推進を

【問】スポーツを行う区民のための環境整備や、支援体制を確立するための計画はあるのか。

また、オリンピックは、多くの国と地域から参加した人々の相互理解を深める。その前提となる、わが国の歴史・文化や郷土の伝統を育むための教育を推進すべきと考えるがどうか。

食物アレルギーについて区民に積極的に周知すべきだ

【問】食物アレルギーは、アレルギー原因食物がたとえ微量でもアレルギー反応を起こし、最悪の場合は死に至るアナフィラキシーショックを引き起こす。そのことを一般の方に知ってもらうことが、食物アレルギーの人達が安全に生活していくためには大切なことである。積極的に区民に周知すべきではないか。

【衛生】食物アレルギーについては、乳幼児健診や親子健康教室等で行っている。

【問】現在の災害対策には、食物アレルギー患者が存在するという視点が入っていないのではないか。食物アレルギーのためには、区民が安全に生活していくためには、区民に周知すべきではないか。

【問】現在の災害対策には、食物アレルギー患者が存在するという視点が入っていないのではないか。食物アレルギーのためには、区民が安全に生活していくためには、区民に周知すべきではないか。

【問】現在の災害対策には、食物アレルギー患者が存在するという視点が入っていないのではないか。食物アレルギーのためには、区民が安全に生活していくためには、区民に周知すべきではないか。

【問】現在の災害対策には、食物アレルギー患者が存在するという視点が入っていないのではないか。食物アレルギーのためには、区民が安全に生活していくためには、区民に周知すべきではないか。

【問】現在の災害対策には、食物アレルギー患者が存在するという視点が入っていないのではないか。食物アレルギーのためには、区民が安全に生活していくためには、区民に周知すべきではないか。

【問】現在の災害対策には、食物アレルギー患者が存在するという視点が入っていないのではないか。食物アレルギーのためには、区民が安全に生活していくためには、区民に周知すべきではないか。

【問】現在の災害対策には、食物アレルギー患者が存在するという視点が入っていないのではないか。食物アレルギーのためには、区民が安全に生活していくためには、区民に周知すべきではないか。

教育環境の整備について



自由民主党
しのはら守宏 議員

【衛生】食物アレルギーについては、乳幼児健診や親子健康教室等で行っている。

【問】現在の災害対策には、食物アレルギー患者が存在するという視点が入っていないのではないか。食物アレルギーのためには、区民が安全に生活していくためには、区民に周知すべきではないか。

食物アレルギー対策について



自由民主党
藤沼 壮次 議員

【問】スポーツ環境の整備と歴史・文化等の教育の推進を

【問】スポーツを行う区民のための環境整備や、支援体制を確立するための計画はあるのか。

また、オリンピックは、多くの国と地域から参加した人々の相互理解を深める。その前提となる、わが国の歴史・文化や郷土の伝統を育むための教育を推進すべきと考えるがどうか。

